

高松市公の施設指定管理者導入施設に対する評価

評価対象期間：令和5年4月1日～令和6年3月31日

施設名	高松市庵治ほっとぴあん		
指定管理者	株式会社オクト	施設所管課等	保健医療政策課
指定期間	令和3年10月1日から令和6年3月31日(2年6か月間)	公募・非公募の別	公募
所在地	高松市庵治町978番地	業務の概要	施設及び設備の維持管理に関する業務 保守管理、環境維持管理、防災・安全確保等 施設の使用申請に対する許可及び取消し等に関する業務 施設利用の促進に関する業務
施設の概要	(建物)鉄筋コンクリート造一部鉄骨造 地上3階建 (職員の状況)施設管理員1名、パート社員14名 (開業時間)浴室及び娯楽室:13:00～21:00 健康増進器機室:10:00～20:00 月曜日・年末年始は休業		

	項目名	令和5年度	令和4年度	項目名	令和5年度	令和4年度
利用状況等	入浴者数	12,790 人	11,114 人			
	カラオケ利用者数	312 人	0 人			
	健康増進器機室利用者数	4,571 人	3,253 人			
収支状況等	指定管理料	19,921 千円	19,921 千円		千円	千円
	収入実績(総額)	25,669 千円	25,071 千円	支出実績(総額)	25,669 千円	25,071 千円
	利用料金	5,748 千円	5,150 千円	収支差引	0 千円	0 千円

評価基準	評 価 項 目	指定管理者自己評価コメント	所管課等評価
1 基本事項	①法令上必要な知識等、安全対策、危機管理	事業計画に基づき適切に維持管理、保守業務に取り組んだ。高松東消防署の指導の下、職員全員による避難訓練を行うとともに、コロナ対策として引き続き清掃時に徹底して殺菌、消毒、抗菌を行った。 個人情報については職員への指導周知により適正に管理・厳守した。 環境への配慮として、ゴミの分別をきちんと行い、施設玄関や植栽に花を沢山植えることなど施設環境の向上を図り、利用者にも大変喜ばれている。	B
	②-1個人情報の保護・情報公開		
	②-2環境への配慮		
2 住民の平等な利用確保	①管理運営、施設事業との関連性	利用者が安心して気持ちよく利用出来るよう職員全員が心を配った結果、アンケート調査でも高評価を受けた。 機械設備の改修、修繕を積極的に行い、機械トラブルでの休業が無くなった。	B
	②平等な利用の確保		
3 施設の効用の最大限の発揮	①利用促進対策	中小企業の福祉共済事業である「ウェルパル高松」の割引施設として認定を受け、広い範囲での利用促進PRができたことで、町外からの利用者が増えた。また、庵治広報にも毎回広告を出して町民にイベント等のPRを行った。企画事業として「夫婦の日」「くじ引きの日」が好評である。 自主事業として「ゆったり体操教室」「美・Body教室」「フラダンス教室」も好評で参加者も増えている。また、地域団体と協力して「サップ体験教室」「健康福祉まつり」を開催した。 また、地元の農家さんとタイアップしてお野菜マルシェを設置して利用者に喜ばれている。 利用者アンケートで顧客意見、要望を把握することができた。	B
	②広報・PR対策		
	③企画事業・自主事業		
	④市・関係団体・地域等との連携		
	⑤サービス向上の取組		
	⑥相談・苦情への対応		
4 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保	①職員確保計画等	地元住民を継続雇用して地域貢献を図った。 職員とのコミュニケーションを図り、顧客対応の向上に努めた。また、無理のないシフトを作成し、有休取得に努めた。 収支計画については、収支予算書に基づき適切に執行管理が出来ていた(水道光熱費は随時細かくチェックすることで、コスト削減に繋がった)。	B
	②教育・研修		
	③就業規則等の遵守		
	④施設運営の健全性の確保(経営状況の確認を含む)		
	⑤損害保険等		
	⑥収支計画と執行管理		
5 管理に係る経費の縮減	①収入の確保・適正な人件費	利用者の増加により収益も昨年より増え、最低賃金にプラスして支給出来るよう努めた。 健康増進・福祉施設として地域に貢献出来るよう職員一同で、運営経費を抑えながら適切な経営の効率化に努めた。	B
	②運営経費の節減対策・コミュニティビジネスの視点		
	③経営の効率化		
	④合理的な会計制度		

総合評価コメント			総合評価
コロナが5類に移行になったとはいえ、大幅な利用者の増加が見込めない期間も、高松市中小企業勤労者福祉共済事業である、「ウェルパル高松」の割引施設として認定を受けたり、積極的に庵治広報誌などへ広告を出すなどしてPR活動に努めた結果、利用者も増加傾向にある。 自主事業の美・body講座及びフラダンス講座も昨年度に引き続き人気があり、常に定員一杯であることは高く評価できる。さらに、高齢者向けにゆったり体操講座を実施するなどして地域の活性化及び健康づくりにも寄与している。ただ、費用がかさむので、受講料等検討する必要があると思われる。娯楽室についても、令和5年6月から再開し、利用者数もコロナ前の水準に近いが、こちらも費用がかさむので、利用料の検討をするか、リース物件自体の検討等が必要と思われる。 修繕について、修繕依頼する業者を庵治町にある業者を優先して依頼している。また、看板の照明をLEDに切り替えたことで節電となり、光熱費やCO2の削減に繋がりが、環境にも配慮している。 職員(パート・アルバイト)も、ほぼ庵治町の住民を採用し地域貢献を果たしており、さらに、最低賃金以上の支給が出来たことは高く評価できる。 施設の老朽化が進み、軽微な修繕は指定管理者自ら行うなど、苦勞して運営しているが、今後においても、施設の老朽化に伴う維持コストの増加が想定されるため、市とも協議しながら、庵治町の豊かな自然を生かしたコミュニティの中心施設として、より効率的な管理運営を検討していただきたい。			B